

栃木県立がんセンター研究所 研究集談会(第1回) 開催

栃木県立がんセンター研究所では、臨床医をはじめとする研究者らが、日々、基礎研究を重ねて見つけ出した新しい医療の種(シーズ)を、実際の医療機関等で使える新しい医療技術・医薬品として実用化するトランスレーショナル・リサーチの実践に向け、非臨床から臨床開発までの幅広い研究を進めており、この度、日頃の研究成果を発表する研究集談会を開催しました。

栃木県立がんセンター研究所では、がん専門病院としてがん克服に向けた研究(臨床と基礎研究の架け橋となるトランスレーショナル・リサーチ)を積極的に進めて参ります。今後も栃木県立がんセンター研究所の活動にご期待下さい。



◆◆◆当日のプログラム◆◆◆

開催日:2024年12月19日

◆研究演題◆

◇腫瘍ペプチドミクスプロジェクト

佐々木 一樹 「がん研究へのペプチドミクスの応用」

◇医療シーズ探索プロジェクト

吉松 有紀 「大腸がんに対する薬剤の網羅的探索」

林 雅人 「胃癌の生検検体でやっていること」

◇分子病理分野

山崎 剣 「DNAメチル化に基づく肝細胞癌の分類」

久保田 直人 「肝内胆管癌の組織形態および遺伝子発現による分類とその特徴」

阿部 信 「高分化脂肪肉腫の脱分化に関与する分子機構の解明と新規病理診断基準の確立」

三浦 瑛祐 「肺腺癌亜型デジタル解析に基づいた、空間的亜型分布の分類確立」

白川 博文 「化学的根拠に基づいた膵臓癌化学療法の治療効果判定基準作成の試み」

石井 政嗣 「膵癌根治切除症例における上昇している術前腫瘍マーカー数の有用性の検討」、「肝内胆管癌 間質多様性と予後の関係」

栃木県立がんセンター研究所では、栃木県内および全国のアカデミアや企業との共同研究体制を強化し、栃木県で唯一の栃木キャンサーバイオバンクを有している強みを最大限に発揮したがん克服に向けた研究(トランスレーショナルリサーチ)を進めております。

※共同研究にご興味があれば HP お問い合わせフォームよりご相談ください。

